

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【Ⅲ, V】
2 実施対象者	仙台市立生出中学校 全校生徒（4クラス・46名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（保健体育・総合的な学習の時間・英語）</p> <p>② 行事名（オリンピック・パラリンピアンから学ぼう ～目標を持つことの大切さ～）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>(1) オリンピック・パラリンピックについての知識を身に付けるとともに、障害の有無にかかわらず、目標に向かって生きること、互いに助け合い、支え合いながら生活することの大切さについて学ぶ。</p> <p>(2) 身近ではないフェンシングや車いすバスケットボールを見たり、体験したりすることを通して、スポーツへの興味・関心の向上やスポーツに親しむ態度を育成する。</p>
5 取組内容	<p>■実践1：11月7日（水）5・6校時</p> <p>車いすバスケットボール日本代表監督及び代表選手を招いての講演と実技体験</p> <p>1 事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の時間を利用して、スポーツ庁から提供されている資料「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料、DVD」を用いたオリンピック・パラリンピックの意義や歴史についての学習 ・車いすバスケットボールのルールや来校される講師の紹介 <p>2 実践当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監督並びに選手の皆さんに車いすバスケットボールとの出会いやパラリンピックに向けた目標、現在の取組、及びルール等の説明など具体例を交えて、生徒に分かりやすく話していただいた。 ・日本代表選手によるデモンストレーションの見学 ・生徒全員が競技で使用する車いすに乗って、ドリブルシュートや試合形式で代表選手と一緒に車いすバスケットボールを体験させていただいた。 <p>3 事後指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想及びお礼の色紙作成、事後アンケートの実施



■実践2：12月7日（水）5・6校時
ロンドンオリンピック男子フルーレ団体銀メダリストである淡路卓氏による講演とフェンシング競技体験

1 事前指導

・保健体育の時間を利用して、ロンドンオリンピックの映像やフェンシングの種目についての解説を行った。

2 実践当日

・オリンピックメダリストの淡路氏から、フェンシングとの出会いとオリンピック選手を取り巻く環境や施設、実際のオリンピックを体験してのお話し、目標を持つことの大切さについて、用意していただいたプレゼンテーション等を使って講演をしていただいた。

・生徒全員がフェンシングの装具を付けての体験活動
・本物のロンドンオリンピック銀メダルを手にとりて見せていただいた。

3 事後指導

・感想及びお礼の色紙作成、事後アンケートの実施





■その他

・1学年の校外学習で仙台市教育委員会健康教育課を訪問し、オリンピック・パラリンピックについての基礎知識や東京オリンピックに向けた宮城県や仙台市の取組状況について学んだ。



・保健体育の授業で、資料やDVDを利用したオリンピック・パラリンピックに向けた日本の取組について学ぶ活動を行った。

・10月に道徳の授業で、パラリンピック（オリンピック）の理念・価値について知り、パラリンピック（オリンピック）本来の目的について学ぶ授業を行った。

・英語科の国際交流の一環として、仙台市内の各中学校に勤務しているALTの先生方から母国のマナーや生活習慣の違いについて学ぶ機会を設定し、異文化を理解し、異なる文化を持って人々を尊重する態度を養い、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国際的な資質を養う交流会を行った。



6 主な成果

・年度当初は、アンケートの結果からもオリンピックやパラリンピックに対する関心が低かったが、実際に学ぶ機会を重ねる毎にスポーツへの関心やオリンピックやパラリンピックに対しても興味関心が高まった。

・競技や人との出会い、講師の方がどのようなことをきっかけにその道を志すことになったのか、目標へ取り組む上での苦労などを聞くことにより、生徒自身が自分のことについて考えるヒントを得る機会となった。

・講師の方々から話から、困難に立ち向かって目標を達成することの大切さを学ぶことができた。

・スポーツへの関心だけでなく、他国の文化やマナーの違いについても理解することができた。

<生徒アンケートより>

・5月の事前アンケートの結果より

	<p>Q.「次回のオリンピックは西暦何年にどこで開催されるか知っているか？」に対して、 A.「知っている」(約84%),「知らない」(約16%) Q.「次のオリンピックが楽しみだ」に対して、 A.「思わない」、「あまり思わない」が約21%であった。また、 Q.「オリンピック、パラリンピックをもっと知りたい」に対して、 A.「思わない」、「あまり思わない」が約52%と関心が低い生徒が多かったが、11月・12月の体験後は参加者の約96%以上の生徒が、「オリンピック・パラリンピックへの関心が高まった。」と回答している。</p> <p><生徒の感想から(抜粋)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボールは、障害の重さがあり、一般のバスケットボールのルールがちがいなどたくさん学べました。特に自分のためになったのは、高い目標を持ち、進む道を間違えないようにするという事を教えてもらったので、今後の人生の参考にしていきたいです。今日は本当にありがとうございました。 ・今日初めて見て、車いすの車輪を使ってボールを取っていたのが、とてもカッコよかったです。スピードもとても速かったです。実際に乗ってみて、最初はできないって思っていたのに、乗ってみたら楽しくてずっとやりたかったなっておもいました！シュートはできなかったけど、めったにできない機会でも、とても楽しく、ルールやオリンピックへの話も面白い学習になれて、関心が高まりました。本当によかったです。 ・今日初めて車いすに乗って、簡単そうに見えたけど、実際は思うように動かなくて難しかったです。速く動いていて、シュートも入っていてカッコいいなと思いました。困難な状況でも諦めずにチャレンジしている2人を見て、私も小さなことで悩んでいけないと思いました。良い経験になったし、とても楽しかった。 ・自分は緊張して動けなくなってしまうタイプだったので、しっかり手順を決めて、力にかえていきたいと思います。私も淡路さんのように目標を見つけ、日々努力して達成したいです。2020の東京オリンピックに向けて頑張ってください。 ・「目標にむけて」の話の中で、「努力で成果がでなくても必ず自分のためになる」という言葉がとても心に残りました。講演もとても説得力があってカッコよかったです。 ・フェンシングに色々な種類があることを知りませんでした。また、それぞれで剣の大きさが違い、攻撃する場所が違うので、別のように感じました。体験してみて、剣が思うようにいかず、足もちぐはぐになったりと、厳しかったです。でも、とても楽しかったです。講演を聞いた時に、自分にはきちんとした目標がないと思ったので、色々な事を見て、探して行きたいです。そしてそれを叶えられるように頑張ろうと思いました。銀メダリストの選手と練習したり、話を聞けることはなかなかないと思います。参加できてよかったです。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の関心を高めるため、事前に基礎的な知識や展示を行った。 ・事前学習で、疑問に思ったことや講師への質問事項を考えた。 ・実践当日も、全員が活動できるような体験プログラムを講師の方と事前に打ち合わせを行い調整した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒レベルで考えたり、体験したりするためのプログラムや課題設定と学習計画の企画・立案

	<ul style="list-style-type: none"> • 学校の教育課程への位置づけと時間調整, 担当者の選定 • ゲストティーチャーの選定と依頼調整等 (今回は, 講師の方と縁のある教員が本校に在籍していたため, このような機会を持つことができた。)
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「総合的な学習の時間」で, 2020東京オリンピック, パラリンピックの進捗状況などを学ぶ機会を設け, 意識の高揚を図る。 • 生徒会主催のレクリエーションなどで, パラリンピック種目などの体験をして, スポーツに親しむ機会を計画したい。 • 国際交流会を次年度も企画し, 今年度同様に他国の文化や習慣の違いなどを学ぶ機会を設定したい。